

## 上越地区育成会事務所でお待ちしています😊

新型コロナウイルス感染症により生活様式が変わって2年が過ぎます。上越市も感染者が減りません。育成会でも、みんなで集まる行事や講座が中止なり、残念な気持ちです。我慢の生活も疲れてきましたね…。

そこで、事務所に安心して来てもらえるように設備を整えました！新潟県赤い羽根共同募金から、福祉活動応援助成金を頂き、感染予防の環境を整えました。

検温機の設置と、空間除菌脱臭機で事務所内の除菌をしています。プロジェクターで少人数の研修会を行えます。安心して遠慮なく事務所へいらして下さい。



空間除菌脱臭



検温機



プロジェクター



### 関係機関との意見・情報交換

この時は、社会福祉協議会と石田市議会議員とで新型コロナウイルス感染症対策について話しました。



プロジェクターを使っでの研修会  
壁には寄付で頂いたスクリーンもあります。  
多くの研修会があります。  
障害者年金、親なきあとの話、特別支援教育など  
少人数で視聴できます。

育成会事務局では松原会長が「親なきあと」、山川は「学童期」の課題に取り組み、今年も講座を行いました。幼少期から老齢期までが繋がり、課題が見えてきました。

成人してからの困りごとは、学童期の過ごし方に影響されています。親の障害受容から始まり、学校の選択、福祉サービスの利用、卒業後の進路先。いつの時代も悩みは一緒に、困っていることは変わりません。

学校を卒業すると入る情報が少なくなります。大きな困りごとが無い限り、障害者雇用の企業も福祉事業所も何も言いません。学校のように同じゴール（卒業）が無いので、各自・各家庭で今後のことを決めていきます。気が付くとあっという間に時間が過ぎます。将来のこと、親なき後のことを、どこで知るのでしょうか。

育成会にはたくさんの先輩がいて、たくさんの経験談があります。これらの体験談は、相談に来られる方にはとても参考になるそうです。ちょっと厳しい現実ですが、先を知ると安心して帰っていかれます。泣き顔も笑顔に変わるようにと、相談を受けています。

関係機関の方も多く来られるようになりました。福祉事業所、相談専門支援員、学校の先生、関係機関の方々…。育成会の活動を理解、応援して下さいます。みなさん「ここに来て、話を聞いてもらいたい人がいる」と言われます。支援する方々は気を使って、言葉を選び、時間をかけて接していると思いました。関係機関の支援者と、同じ立場の保護者だから何でも話す支援者（育成会）の違いです。

福祉制度が充実した今、育成会の役割は情報を伝えることだと思います。松原会長は「情報をもっている所に情報は集まるし、情報を落としてってくれる」と言われます。

育成会の事務局には情報がたくさん落ちています。事務所でお茶を飲みながら、必要な情報を拾って下さい。聞かれたことは何でもお話しします。

会員の皆さんの事務局です。ぜひいらして下さい。お待ちしております。